



平成31年 新年知事あいさつ

～「人に生きがいを」、「産業に活力を」、「暮らしに潤いを」～

長崎県知事 中村 法道

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から統計業務の円滑な推進に多大なるご尽力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は、県民の皆様の安全・安心を支える防災拠点及び協働の拠点として新しい県庁舎が始動いたしました。また、念願でありました「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産への登録や、ノーベル文学賞を受賞された本県出身のカズオ・イシグロ様の名誉県民顕彰など、本県にとって多くの喜ばしい出来事があった年となりました。ご尽力とご支援をいただきました関係の皆様方にあらためてお礼を申し上げます。

さて、本年は、長崎県総合計画も4年目を迎え、今後一層の選択と集中を図りつつ、新たな視点や発想を取り入れながら、「人に生きがいを」、「産業に活力を」、「暮らしに潤いを」与えられるような施策を戦略的かつ分野横断的に展開していくこととしており、とりわけ、本県の最大の課題であります人口減少対策については、市町や関係団体の皆様と一体となって、Uターン者の創業・事業承継、地域活性化のための雇用拡大への支援や、県外に進学した学生に対する県内企業の認知度向上などに総力を結集して取り組み、県民の皆様に具体的な成果をお示しできるよう全力を傾注してまいります。

特に、若者の県内定着促進については、県内企業の採用情報の提供、合同企業面談会等の開催など様々な施策を講じているところであり、県内企業の魅力向上、学生と企業の交流機会の拡大、県外進学者等のUターン就職促進等の取組の強化など、県内就職率の向上に全力を注いでまいります。

また、昨年は、相談窓口を介したUターン者数が過去最多となったという嬉しいニュースもありました。これは県と県内全市町が共同で運営する「ながさき移住サポートセンター」を核として、移住希望者の視点に立ったきめ細かなサポートを行ったことや、有人国境離島法の施行による新たな雇用が創出されたことが成果に繋がったものと考えており、今後とも様々な工夫を凝らしながら、さらに多くの皆様に長崎に移住していただけるよう取り組んでまいります。

さらに県では、婚活サポートセンターによるお見合いシステムでの結婚支援、保育環境の整備などに取り組んでおり、今後、関係機関との連携体制をさらに強化し、県民の皆様が安心して結婚・子育てができる環境を整備してまいります。また、県民の皆様がいつまでも健康で長生きしていただくために、「健康長寿日本一の長崎県づくり」の旗印を掲げ、市町や関係団体等と一緒に、お一人おひとりが楽しく健康づくりに取り組めるような環境づくりに力を注いでまいります。

九州新幹線西九州ルートについては、本県が求める新大阪までの直通が実現することで観光、ビジネス等の人の流れが一気に拡大し、地域の経済活動に大きな効果をもたらすことが期待されています。西九州地域の発展のためには、時間短縮効果、投資効果など整備効果の最も高いフル規格による整備が必要であると考えており、引き続き、本県選出国會議員や県議会の皆様、関係自治体等と連携を図りながら、フル規格による整備の実現に向けて全力を傾注してまいります。

アジア・国際戦略については、中国北京市で開催された日中平和友好条約締結40周年記念レセプションへの出席や各種記念行事の開催、ブラジル日本移民110周年を記念した南米親善訪問団の派遣等、諸外国との経済・文化など幅広い分野での交流を積極的に進めてまいりました。また、本年1月から長崎～香港を結ぶ国際定期航空路線が新たに開設されることとなっており、一層の誘客拡大とともに輸出や物流の促進による本県経済の活性化が期待できるものと考えております。今後とも、本県と海外との歴史的なつながりを大切にしながら、さらなる交流促進と誘客拡大に努めてまいります。

特定複合観光施設（IR）区域の整備については、設備投資や施設運営を通じた経済への波及、新たな雇用の創出などにより、本県観光や地域経済の振興に大きく寄与するのみならず、九州全体の観光振興、ひいては我が国の発展に貢献できるものと考えております。今後とも、九州各県や経済団体など関係皆様方と一緒に連携を図りながらIR区域として認定されるよう全力を注いでまいります。

本年は、ラグビーワールドカップ、そして来年は東京オリンピック・パラリンピックと、スポーツの大規模な国際大会の開催を控えており、各国のキャンプ誘致にも積極的に取り組んでいるところであります。これらの機会を捉え、本県の魅力を幅広く発信し、国内外からの誘客促進に努めるとともに、本県が直面している様々な課題の解決に向け、これまで以上に県民の皆様と力を合わせて、夢と希望にあふれる長崎県づくりに努めてまいります。

統計行政については、国において経済統計の改善や府省横断的な統計整備の推進などの統計改革が着実に進められております。県といたしましても、社会経済の現状や将来動向等を把握するための指標である統計を有効に活用し、実行性のある施策の構築・推進に取り組んでまいりますので、今後とも皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

